

〈第 20 号〉

発行：(社)愛知建築士会名古屋西支部
名古屋市中村区則武1丁目10-6
側島ノリタケビル805号
ナカムラ設計事務所内
TEL (052) 451-7951
FAX (052) 452-7118
編集：広報渉外委員会
印刷所：(株)ワコーヴィスコム
TEL (052) 915-0681



2005年愛知万博の玄関

**祝
20号**
見えてきた！国際都市名古屋の新しいランドマーク
着々と進むJRセントラルタワーズ工事

EXPO
AICHI/NAGOYA
2005
IN
AICHI
開催決定



6月16日JRセントラルタワーズ工事の支部見学会に参加された皆さん

「めいせい」第二十号発刊

おめでとうございます

(社)愛知建築士会

会長 畑 中 圭 介



名西支部初代支部長になられた馬場富雄さんが名古屋支部設立検討委員長として設立のための具体案作りに尽力をされたのは昭和六二・六三年でした。水野洋生会長が組織委員会を作られ、私が委員長として名古屋支部設立の命をうけ、前述の案を実行し、昭和六四年(平成元年)平成二年の二年間をかけて現在の名古屋六支部を設立することができました。なつかしく思い出します。

「めいせい」第二十号は平成三年三月一〇日の発行ですから、名古屋支部設立と同時に、初代馬場支部長の熱い思いがひしひしと感じられます。名古屋六支部設立の目的は士会の活性化

内容には豊かで多岐にニュース、投稿、交流記事、企画、建築法規、啓蒙記事、本当に知識の宝庫です。各支部全部発行していただければと希望も浮びます。取材の苦勞が偲ばれます。これも初代馬場支部長・現中村順吉支部長をはじめ役員の方や、支部会員の皆様の努力と協力の賜ものです。深く敬意を表し、感謝いたします。どうか更に「めいせい」の発行を継続され、会の発展にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

「めいせい」第二十号の発行にあたって

名古屋西支部

支部長 中 村 順 吉



「めいせい」第二十号の発行が、私の支部長の任期の始まりになります。思いは第一号発行の頃はまだまだバブルで日本中が浮かれていた。広告協賛もそんなに苦労しなくても、集まったように思います。

本年度は名簿発行も重なって大変苦労しております。協賛願った企業の皆様、コメントをお願ひした委員の皆様には大変お世話になりました。紙上にてお礼を申し上げます。平成三年から始まった会報を充実するには総会、役員会、青年部の報告もさることながら、会報の編集、発行等の広報渉外委員会の努力、その内容を盛り上げる研修委員会の

平成九年度通常総会報告

ホテルサンルート 四月二十五日

本年の総会も第七回目をむかえ、ホテルサンルート名古屋にて、平成九年四月二十五日(金)に開催されました。

山田正博氏の司会により、白井謙造副支部長の開会宣言、中村順吉支部長挨拶に続き、来賓の本会監事安井辰夫氏の挨拶後、江崎正守氏の議長により定足数確認(委任状を含む出席者一四八名・会員総数三七五名五分の一以上の出席にて総会成立)を行い、本総会の成立を宣言し議案審議に入りました。第一号議案、平成八年度事業報告を水野威蔵務企画委員長より、収支決算及び貸借対照表を水谷友彦会計より詳細説明がありました。曾我明久監事より監査報告後、質疑なく多数の挙手により第一号議案は承認されました。第二号



支部総会風景



懇親会スナップ

議案平成九年度事業計画案を村瀬祐爾新総務企画委員長より、収支予算案を水谷友彦会計より説明があり、定数及び支部事業について質疑があり、支部長より答弁し了解を得た後、多数の挙手により第二号議案は承認されました。第三号議案平成九年度支部役員案について水野威蔵役員選出議長より説明があり、質疑なく多数の挙手により第三号議案は承認されました。号議案は承認されました。つづいて支部長より支部の新役員紹介があり、平成八年度の青年部のスポーツ等での活躍について青年部に感謝状が贈られました。牛田信彦青年部長よりお礼の挨拶がありました。最後に牛田信彦氏が閉会を告げ、今総会を終了いたしました。引き続き懇親会に移り、各役員及び会員相互間の親睦を計りました。

笠嶋淑恵氏の講演会に参加して

参加して

(第五回 研修見学会) 新美 峰 子

今までに設計された建築の中で「濃尾平野の家」一風を聴く家」を始めとして、「大府市デイサービスセンター」など数点の作品について、スライドをまじえ、それぞれの設計主旨等の説明をお聞きしているうちに、

新副支部長紹介

副支部長 桜井 孝 司



平成九年度支部通常報告活動の支援に微力ながら、支部会員アンケート調査を行い、多くの貴重なご意見を有り難うございました。予想を反して回収率が低く、多くの会員の声がお聞き出来ず残念でした。役員として反省課題です。今後多くの皆様のご指導協力をお願い致します。

平成九年度新役員及び委員会編成決定

委員会編成決定

名古屋西支部・役員選出規程により、支部新役員が決まり、四月二十五日の平成九年度通常総会で承認されました。また五月九日の役員会で各委員会の委員も決まりました。

支部長	中村 順吉	〇
副支部長	桜井 孝司	〇
常議員	長谷川隆雄	〇
水谷友彦(会計)	水谷 清文	〇
牛田 信彦	牛田 信彦	〇
白井 謙造	白井 謙造	〇
浦野 一男	浦野 一男	〇
江崎 正守	江崎 正守	〇
監事	横井 正治	〇
大山 永次郎	大山 永次郎	〇
岡田 敏夫	岡田 敏夫	〇
加藤 健浩	加藤 健浩	〇
河越 靖明	河越 靖明	〇
小山 正之	小山 正之	〇
関本 次郎	関本 次郎	〇
鈴木 明久	鈴木 明久	〇
曾我 道雄	曾我 道雄	〇
中村 利雄	中村 利雄	〇
松浦 伸一	松浦 伸一	〇
丸藻 仲野	丸藻 仲野	〇
村瀬 祐爾	村瀬 祐爾	〇
村山 末夫	村山 末夫	〇
山田 正博	山田 正博	〇
水野 正治	水野 正治	〇

支部役員会だより

四月二十五日、平成九年度名古屋西支部通常総会を無事に終え、今年度第一回支部役員会が五月九日開催されました。役員会の日程は、毎月本会理事会(第一例会日)の週の金曜日を定例としており、今年度より開始時刻を三〇分繰り下げ、午後六時半としました。第一回役員会では、二期目を迎えた中村支部長より支部総会に対する謝意と、新たな出発への決意表明と協力要請があり、新役員を迎えて各役員の自己紹介の後、議事に入りました。

広報渉外委員会

七月月中旬発行の支部報「めいせい」第二十号の発行スケジュール及び十九号で実施した支部アンケート調査の報告があり、九二名の回答があり現在集計作業を進めている旨の報告がありました。六月の第二回役員会では青年部の役員を含めた拡大役員会として、中部電力中村営業所にて開催し、支部会員名簿の作成、六月実施の研修見学会及び支部報の発行予定の報告がありました。青年部では、本会青年部主催、ソフトボール大会の幹事支部としての準備報告、予定事業として、第二回パソコン初歩講座、健康をテーマの講演会とサンゲツショールーム見学会の計画などの報告があり、役員会終了後、恒例になった料理教室を楽しみました。(副支部長 水谷友彦)

総務企画委員会

支部総会の報告、会費納入状況及び会員動向(入退会者)について報告の後、総務企画・研修・広報渉外各委員会の委員の再編成について協議しました。三委員会は役員及び一般会員より加わって頂いた委員で構成され、七月発行の支部会員名簿の中でお知らせを致します。

研修委員会

本年度第一回研修見学会は、名駅のJRセントラルタワーズ新築工事の現場見



拡大役員会(中部電力・中村営業所にて)

相談役	浦野 三男	〇
支部選出評議員	山田 正博	〇
白井 謙造	白井 謙造	〇
長谷川隆雄	長谷川隆雄	〇
総務企画委員長	村瀬 祐爾	〇
委員長	鈴木 次郎	〇
副委員長	牛田 信彦	〇
委員	加藤 敏夫	〇
小山 靖明	小山 靖明	〇
丸藻 伸一	丸藻 伸一	〇
水谷 友彦	水谷 友彦	〇
加藤 義孝	加藤 義孝	〇
研修委員長	江崎 正守	〇
副委員長	松浦 利雄	〇
委員	牛田 清文	〇
村山 勉	村山 勉	〇
浦野 一男	浦野 一男	〇
中村 道雄	中村 道雄	〇
川越 健浩	川越 健浩	〇
河田 浩	河田 浩	〇
水野 威蔵	水野 威蔵	〇
長谷川隆雄	長谷川隆雄	〇
藤田 篤志	藤田 篤志	〇
委員長	山田 正博	〇
副委員長	村上 粹野	〇
委員	曾我 明久	〇
横井 正治	横井 正治	〇
関本 正之	関本 正之	〇
白井 謙造	白井 謙造	〇
岡田 敏夫	岡田 敏夫	〇
桜井 孝司	桜井 孝司	〇
新美 峰子	新美 峰子	〇
神田 直恵	神田 直恵	〇
金子 直恵	金子 直恵	〇

〇印は新任を示す

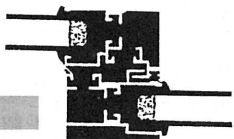


技術と信頼の
一般建築工事・土木工事・PC工法低層住宅・中層住宅・高層住宅
PS工法高層住宅・カーテンウォール製品・オムニア板その他コンクリート製品
豊田縦建株式会社
〒470-03 愛知県豊田市亀首町上向イ田65番地
TEL (0565) 45-7822(代) FAX (0565) 45-1260

家を建てるなら
リフォームするなら
東邦ガスの**床暖房**
東邦ガス住設工事サービス店
株式会社 NITTOH
●本社 〒462 名古屋市北区報徳町14-2 TEL(052) 915-3210(代)
●三河(0566) 22-5800(代) ●岐阜(0574) 26-5364(代)
●豊橋(0532) 48-6800(代) ●三重(0592) 24-8212(代)



日本の窓に、生活断熱。
テルモア



断熱・遮音・防露・省エネ・割増融資
株式会社YKKAP愛知 TEL 052-211-8006

防火貯水槽アクアエンジェル
FPR両面吹付けによる鋼製タンク!!



玉田工業株式会社 名古屋営業所
〒461 名古屋市東区筒井3-26-25
TEL (052) 933-7471 FAX (052) 933-7473
本社 金沢市無量寺町ハ61-1
東京・仙台・富山・金沢・福井・大阪・広島・福岡

アクリルゴム系外壁塗膜防水材料
JIS A 6021 許可番号687004

アクリトーン

アクリトーンは、JIS A 6021(屋根用塗膜防水材料)の規格に適合し、日本工業規格表示を許可された製品です。また、このアクリルゴム系塗膜防水はJAS58(防水工事)の中で外壁塗膜防水層の標準材として設定されている唯一の材料です。

アクリトーンMR外壁改修システム

アクリル系弾性塗料

メタコートG

アクリトーン会東海支部会員の責任施工による施工管理の徹底

外壁防水工事は、材料の優れた性能や安定性と共に、施工の技術や管理の良否によってその成果が左右されます。アクリトーン会による責任施工がユーザーの信頼に応えます。

お問合せ先 アクリトーン会東海支部事務局(三菱レイヨン株式会社アクリトーン事業部内)
名古屋：名古屋市中村区名駅3丁目28番12号(大名古屋ビル) 〒450 ☎(052) 561-6716



研修見学会に参加して

今井奈穂美

今回の研修会は、午前に滋賀県は五箇荘にある歴史民族資料館と近江商人屋敷を見学、明治時代の文化に触れた後に、午後は彦根市若葉小学校と滋賀県立大学を見学して夕刻に名古屋にもどるといった予定をみただけでなくハードな予定のするものだった。一日でこれだけの見学を行うという盛りだくさんの研修を行うところは、さすがの名西支部ならではのといった感もあるのだが……。

箇荘に到着。歴史民族資料館は豪商藤井彦四郎の生家を改修したもので、特に庭園の豪華さは目を見張るものがあつたが、対して屋敷自身は儉約で勤勉であつた近江商人らしく豪華さの感が親しみやすかつた。場所を移動しての作家外村繁の生家等でも同様に感じた。

さて午後は、彦根市長である中島 一樣自らがご説明下さり、若葉小学校を見学。建築にたずさわつてい



中島 一彦根市長と共に 若葉小学校にて



滋賀県立大学



滋賀県立大学

水が巡る水路に沿って自然発生した「環濠集落」のイメージで設定、集落らしく多様性を出すため敷地内の四ブロックを異なる建築家で設計したとのこと。デザインコードに基づき各々設計された中でひとときわ目立った体育館の曲面屋根やガラス面も始めは異質なものに感じられたが、自然になじむ形態であつたせいも帰りに違和感なく思った。昼食にいただいた伝統料理にまで心配りいただき、満足な一日であつた。

(筆者・中村区会社社勤務)

平成九年度青年部総会報告

副部長 川越 浩

去る四月二十六日、青年部平成九年度通常総会を本会青年部より佐野慎氏・名西支部長中村順吉氏を来賓にお迎へして、本年度の議案を滞りなく審議していただき、また承認いただきましたことは執行部の一員として厚く御礼を申し上げます。同時に皆様の御協力をいただき牛田部長を先頭に発展する青年部をめざして努力をしたいと思ひます。総会の締めくくり今年度より青年部卒業者で功労のある方に対し記念品を贈呈することになりました。その功労者として松浦利雄氏、神田勝彦氏、渡辺好己氏へ感謝の意をこめて満場の拍手の中、記念品の贈呈がありました。

この御三方は、青年部設立準備委員会当時より御尽力いただき今日の青年部の礎を築いてくれました。本当に有難うございました。そして御苦労様でした。

早いもので青年部も五回目の総会を迎えたわけですが、その間に研修セミナーの発表が優秀賞をいただいたり、昨年度はスポーツ三部門（ソフトボール大会三位、ゴルフ大会二位、ボーリング大会一位）の総

二・三割の会員の方と少し残念に思います。青年部が楽しい会であることがコマージュルでできなかったことを今反省しております！「青年部会員のみなさん！超、おもしろい青年部です。どうかいろんな行事に参加してみてください。やめられませんが、止まりませんハイ」

本年は支部対抗ソフトボール大会を当支部が担当で運営することになりました。どうか御協力をお願いします。

という広報をしながら終わります。

東海自然歩道を歩く

「めいせい山歩同好会」中

去る三月二十三日日曜日、八年度第二回山歩同行会が、奥入鹿八曾自然休養林の東海自然歩道で実施されました。当日は朝のうちに少し肌寒い花冷えで、日向を歩くと丁度快適な気分になるような氣候でした。が、一年半振りに出席して初春の一日を大変楽し過ごしました。何時もながら企画いただいた世話人御一同のお骨折りに改めて御礼致しますと共に、当日御出席の皆様の飾り気のないお付き合いを心より感謝致しております。

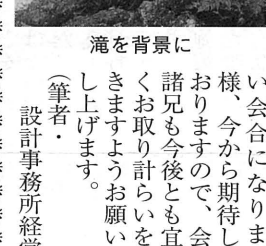


一汗かいて

す。
私共は今年で六十三才になりましたが、お陰様で足腰は至って壮健です。一昨年は屋久島の縄文杉を、往復十時間かけて見て来まし



身近な所ですが、初めて来てみると結構自然が残っており、夏に来ると、木陰の中で充分の森林浴が楽しめるので、又自然歩道も良く整備されており、適当な起伏があつて中々良い隠れた環境を備えた所と、出掛けてみて感心をしている次第で



滝を背景に

い、会合になります。様、今から期待しておりますので、会員諸兄も今後とも宜しくお取り計らいを戴きますようお願い申し上げます。

(筆者・設計事務所経営)

藤原岳山行記

「めいせい山歩同好会」 大山 永次郎

五月十一日、定刻八時西
藤原農協駐車場に臼井チー
フリーダー・水谷副支部長
含む十名が集合、坂本谷コ
ースより登山を開始した。若
山の木々は色とりどりの。道
葉を大きく広げていた。道
端にはヤマブキソウ、葉が
大きいわりに花の小さいエ
ンレイソウ、ピンク色のイ
ワカガミ、白い小さな二輪
草等等、我々の重い足ど
りを元気づけてくれた。二時
間程で白船峠に到着、朝食
が早かった事、昼食予定の

藤原山荘には一時間以上か
かることから小休憩とする
。これからは登りも厳し
くないとビールで乾杯、弁
当を半分ほど食べる。十
時過ぎの再スタート。途中
五十名ほどの下山する中高
年登山グループに会う。こ
の時間下山するのなら早
朝登山か民宿に泊まったの
か元氣な中高年達である。

藤原山荘での昼食は登山途
中で採取したタケノコをゆ
でて食べたが春のやわらか
い味と香りがほんのりと感

第六回 名西支部長杯

江崎さん2連覇なる

五月二十二日(木)、時折日しのさす爽やかな日に、六回名古屋支部長杯ゴルフコンペが岐阜県瑞浪高原ゴルフクラブに於いて、参加三十三名で開催されました。

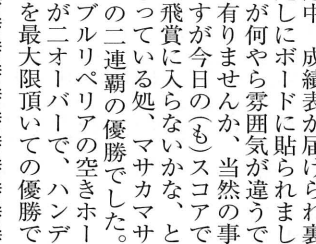
先ず最初に今回のコンに参加されまして皆様にからんお詫び申し上げます。

メナサイ。



スタート前にハイポーズ！

て参加者全員早々と到着し、幹事より注意説明の後員で記念写真をとリ、前優勝者小生ですの派手始球式でコンペがスタートしました。クラブは割合空いていて、休憩も三十分で西コースから東と廻スコアは別として楽しげながら雑談しているさん、ご苦勞様でした。



江崎正守

連覇の江崎さん(右側)



藤原岳にて

られた。又思ひもよらな
服部さんの野点の抹茶と
頭は山頂での初の体験。
とも風流な食事であつた。
十四時表道コースの急
を一気に下山、十五時長
水に無事到着。渴いた咽
うるおし駐車場に向かう。
(支部常議員)

第六回名西支部長杯成績表

06	九
2	七
4	·
5.0	五
0.0	·
	二
	二
	二

閔本正之	牛田信彦	二村幸三	池田賢彦	水谷友作	村瀬祐爾	川越浩	山田晴康	曾我明久	鬼頭駿	神田勝彦	斎藤政克	2
133	103	88	100	105	96	94	89	93	99	89	81	106
(64	54	46	54	53	47	46	43	48	49	41	42	5
69	49	42	46	52	49	46	45	50	48	39	35	5
36.0	24.0	9.6	22.8	28.8	20.4	19.2	14.4	20.4	26.4	16.8	9.6	36
97.0	79.0	78.4	77.2	76.2	75.6	74.8	74.6	72.6	72.6	72.2	71.4	70



クッキン
ヒーター

安心・清潔・便利の三拍子

オール電化住宅

お問い合わせは…

 **中部電力** 中村営業所 TEL (052) 471-9247



電気
温水器

木材防虫・防ふステイン

サドリン ベーシック エキストラ

玄々化学 ☎(0567)28-9204

解説担当 馬場 富雄

(土台及び基礎)

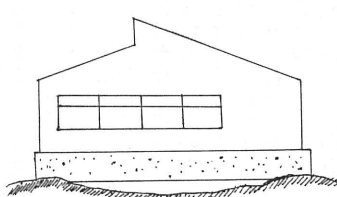
第四十二条

2 土台は、一体の鉄筋コンクリート造又は無筋コンクリート造の布基礎（前項ただし書の規定によって指定した区域内においては、一体の鉄筋コンクリート造の布基礎）に緊結しなければならない。ただし、当該区域外における平家建ての建築物で延べ面積が五十平方メートル以内のものについては、この限りでない。

ロツパでコンクリートが発明され、そしてその少し後にフランスのモニエさんがコンクリート製の植木鉢に針金を編んでコンクリートに埋め込むことを考えました。これが鉄筋コンクリートの始まりです。続いて今度ドイツのヴァイスさんが今から百十年程前に、鉄筋コンクリートの建造物を企画、そして構造計算をしました。すなわち柱と梁で構造体を形成するラーメン構造の幕開けです。

この技術が明治の日本に入り、今から九十年程前日本で最初の鉄筋コンクリー

The figure consists of two line drawings of a ship's hull, labeled A and B. Drawing A shows a ship with a relatively flat bottom and a small, simple keel. Drawing B shows a ship with a more pronounced curved bottom and a larger, more complex keel structure. The labels 'A' and 'B' are placed to the right of their respective drawings.



建築物も右図の様に地盤の不同沈下がおこってもこわれぬ布基礎が百点満点です。

こんな基礎を設計すると大変な構造になってしまいますが、その様な基礎を要求する施主もいませんので実現しないだけのことです。

技術的には費用のことを考えなければそんなにむづかしい事ではありません。それでは我々の通常設計している木造の有筋基礎は、どの位の長さの持ちかはなしに耐えられるかということ、そのことは構造計算によって算出することが出来ます。

その持ちばなしの長さか、建物の長さに対してしだなく、かという事で表示しますけれども、そのことが布基礎の性能を表示していることになつてゐます。基礎の丈とか、鉄筋の径とかを決める今までの仕様書方式から性能を表示しておいて丈も鉄筋の径も自由に設計してもらおうというのが今検討されてゐる性能表示方式なのであります。さて話を本題にもどします。その後、度々の大地震で木造の無筋コンクリートの基礎が地盤の不同沈下によつて破壊を起こす例が多々発しました。そこで木造の基礎も鉄筋コンクリートとする様に法規制ができない、できないとしたら行政的にPRしようではないか、ということになり私の勤務しておりました名古屋市の建築行政組織の中に検討委員会をつくりました。今から十五年位前のことです。

戦略として決めた事は一般市民には実物模型展示とPRパンフレットを大量に配る。更に大学の実験室へ一般市民にも来てもらってコンクリートに鉄筋を入れるのと如何に強いかを実験して見てもらう。そして建設省にも政令で有筋を義務付けてもらう様に働かせるななどがある。これがその骨子でした。これによってその後の施策を実現するために多額の費用が要ります。はたせるかな新規事業で予算要求をした所、財政当局の厚い壁にぶつかりました。

その財政当局の質問は「多くの悪い既存建物がある中で一部の建物にこんなことをしたって仕方ないではないか」というものでした。そこで私は次の様にしました。そこで私は次の様に答えました。「建物には寿命があります。特に木造建築は五十年位だと考えられます。今現在とはともかくこの施策を進めると五十年経った時には殆どの木造建物に有筋基礎に変わります。今のことだけを考えると施策をやらなければ五十年経っても何も改善されないではないか、そんな事では市民の命は守れない」と迫りました。何とか予算を認めてもらいPRパンフレットと実物模型を作り、一方名古屋大学の実験室では多数のマスコミが見守る中、無筋コンクリートと鉄筋コンクリートの破壊実験が行われました。幸い他に大事件がなかったおかげで各局とも、その日のテレビニュースでトップに放映してくれました。建設省の方も木造建物の有筋基礎については全部強制的といかないまでも出来る限りの政令改正をやりましょうということまで従来のすじかいの量を一・五倍とする地域指定の他に木造基礎の有筋化だけを義務付ける軟弱区域の指定が出来た様に政令を改正してくださいました。(条文参照)

これが建設省告示第千八百九十七号(昭和六十二年十一月一日)となり特定行政庁が木造建築の有筋化を

義務付けける区域を指定することが出来るようになりました。

この様な事が色々ありましたが現在では、この施策が功を奏したのか、木造建物の無筋コンクリート基礎は殆ど姿を消しました。但し最近心配なことが一つあります。それは私共が理想の基礎としてPRしたベタ基礎なる用語が一般市民に普及し、盛んに施行されている実態です。そのベタ基礎なるものは、ただ土間コンクリートに細径の鉄筋を入れてコンクリートを一面に打設するだけのもの、とで構造的にいうベタ基礎とは異なるものです。ベタ基礎という言葉だけが一般市民の間に一人歩きをして、まことに困った事です。しかもこのベタ基礎なるものは全面的にコンクリートを打設する関係から掘方（根切り深さ）が大変浅いので、大雨等による浸水の場合、地震の場合、近接して掘方面を行つた場合は地表面に近い地盤はともて不安定ですので、将来の事故の発生が心配されるのです。今一度我々建築士が基礎設計の原点にもどつて反省する時だと思ひます。

とにかく基礎の有筋化が進み始めてから、そろそろ十五年近くになります。先程の建物の寿命を五十年と考えると全体の三十%位の木造建物は有筋基礎に変わったことになりました。あと三十数年もすれば殆どの木造建物が有筋化されることでしょう。なんとかあと三十年位大地震のこないように祈つている昨今です。次回には柱の説明はいりま



春夏秋冬

先日、仕事で京都を訪れた。目の前に立ちはいだかるる巨大なガラスの壁のＪＲ京都駅。人間のスケールをはるかに越え、人を飲み込む。言葉を失った。京都の住民は必死で反対運動をしたが、これもなく完成をみる。これに対し設計者である原広司は「千億、二千億は大した大金額ではない。作ってみて悪かったら壊してしまえばいい、市民などくそくらえだ」と暴言を吐いた。何となく愚かなことか。一九九九年にＪＲ名古屋駅も五十四階のツインビルが新たな姿を表す。名古屋の住民は何を思うだろうか。

編集後記

会報「めいせい」も二十号を発行する事ができました。新しい広報委員による会報発行となり、アンケートの集計作業も含め、限られたスケジュールの中での編集作業となり、執筆していただいた会員の皆様に感謝致します。三十号の発行予定は二〇〇〇年の十一月頃です。(二十一世紀まで残り三十日余りとなっています)今回もまた、紙面の都合で「史跡ウォーキング」を掲載する事ができませんでしたが、今後共、継続してゆく所存です御期待下さい。

(さんた)

本 社 〒460 名古屋市中区千代田4丁目16番24号
電 話 052) 3 2 1 - 2 9 6 8(代)

三 好 〒470-02 西加茂郡三好町大字筋生字水洗8-2
営業所 電 話 05613) 4 - 2 7 7 8(代)

建築・土木工事の完全防水に……各種材料それぞれの長を生かした併用工法に

カネボウコーレックス

EPTブチルラバー ベルシート防水 ウレタン系 ベルウレックス防水	アスファルトウレタン冷工法 ベルファルト防水 ウレタン系 ベルフロアー	アクリル系 ベルウォール EPTブチルラバー カネシート土木防水
--	--	---



力本求ウ化成株式会社

名古屋支店 名古屋市中村区名駅四丁目17番19号
TEL(052)581-1271 FAX(052)581-2625

FRP防水ライニング

防水ライニングの特長	優れた密着性
優れた耐久性	速硬化性(工期の短縮)
優れた防水性	カラフルな仕上がり

 株式会社 **NITTOH**

本社別館 TEL(052) 915-2100代
三河営業所 TEL(0566) 22-5800代
豊橋営業所 TEL(0532) 48-6800代
岐阜営業所 TEL(0574) 26-5364代
三重営業所 TEL(0592) 24-8212代

超高強度軽量コンクリート製置敷溝配線システム

ネットワークフロア29/40

共同カイテック株式会社

中部FS営業所 〒450 名古屋市中村区名駅南1-24-8 第1原ビル TEL (052) 581-0204

アンケート調査集計結果

「名古屋西支部に関するアンケート調査」結果について、西支部会報「めいせい」第一九号の特別企画にて、全支部会員三十五名男性三六二名、女性一三三名にアンケート調査をお願いしたところ、九二名(約二五%)の方より回答を頂きました。大変有り難うございました。そのアンケート調査の集計結果を本号にて掲載いたします。今回は各設問

設問(1) あなたの勤務先(自営を含む)は以下のどれにあたりますか。(ひとこと○印)

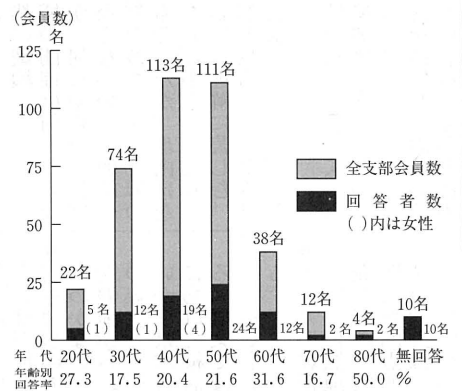
設問	年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答	計
設計事務所		1	6	13	14	5	1	2	6	48名
その他の設計事務所 (構造・設備・インテリア等)		2				1				3名
都市計画コンサルタント										0名
不動産会社デベロッパー				1						1名
建設会社		3	2	8	8	6			3	30名
住宅メーカー			3							3名
官庁・公社・公団										0名
その他		2	1	2		1			1	7名
計		6名	13名	23名	24名	12名	2名	2名	10名	92名

設問(2) あなたは名古屋西支部の会員になられ、どのような感想をお持ちですか。又、今後支部に期待されることは何ですか。(ひとこと○印とコメント下さい)

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答	計
よかった	1	4	5	9	6		1	4	30名
まあまあよかった	3	7	16	14	6	2	1	6	55名
よくなかった	2	1	2	1					6名
回答なし		1							1名
計	6名	13名	23名	24名	12名	2名	2名	10名	92名

●研修会や見学会を多く企画して下さい。
●役員の方々の御苦労、努力に感謝します。
●私は常議員に就任時、初めての定例会に出席時に新役員の紹介又は自己紹介がなかった。
●研修会、見学会に時々出席しています。
●他府県士会との交流。名古屋西支部に似た支部があればその支部との交流と情報の交換。全国的な知名度アップ。
●支部会報「めいせい」による情報が行き渡る。
●法令講習会を定期年一回

年代別 回答者数グラフ



回答者の住所(年代別)

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答	計
1. 中村区		4	5	5	2		1		17名
2. 西区	3	4	11	7	6	2	1	1	35名
3. 西春日井郡	2	1	2	9	1				16名
4. その他	1	4	5	3	3				16名
回答なし								8	8名
計	6名	13名	23名	24名	12名	2名	2名	10名	92名

設問(3) あなたはこれまでの支部主催のどの様な企画に参加されましたか。(いくつでも○印) 又、参加された方は、回数とどの企画に参加されましたか。

① 研修会	39名
② 見学会	41名
③ 総会	27名
④ スポーツ・その他	20名
⑤ 無参加	35名

●参加したい企画は、いくつかありましたが、時間が平日の昼間だと無理。スポーツはいつも同じメンバーだらうなあと、一回の気分はいい。一回の山歩き会(去年一回)。度々御通知を頂いておりすが体調の悪い時

●色んな方と知り合いになれ、地域社会に認知される支部になって欲しい。
●支部の活発な活動、良く頑張っていると思う。
●技術的な講習会、勉強会を希望します。
●支部所属で結構でした。支部のメリットは何もない。支部会費だけ余分に感じられる。強制的に支部所属にされ面白くない。士会々費は余りにも高くなり過ぎた。
●イベントに興味がもてる。参加できることが良い。
●各研修会、見学会を行っています。都合により不参加で残念です。

設問(4) あなたは会員として名古屋西支部が研修会、見学会、講演会を始め、どのような企画をしたらよいと思いますか。具体的にお願いします。

① 研修会	25名
② 見学会	20名
③ 講演会	20名
④ スポーツ・交流会・行事	17名
⑤ 回答なし	22名

●最新の技術情報等の講習会、講演会。CAD等に関するメーカー等のデモンストレーションや講習会等を多くしてほしい。
●主催者の御苦労が目につく。出来る限り連絡を密にし、会合直前に再度確認することをお願いしたい。
●パソコン教室。
●釣り等をまじえたら良いと思います。会員の講演会等を聞く会も良いと思います。
●技術的なもの。法改正の説明。
●交流会(特に異業種)との交流が必要だと思われたい。
●基準法の改正が有った時の講習。見学会・タイムなど、その解釈の解説があると助かります。
●建築以外の面白雑学講演会が良いと思います。
●特に活動に参加する意志はない。

●西支部が発足して以来参加していただいている。高山の八角形の経本、建物、法隆寺の建設現場等、見学会はいつも地域の責任者の方の案内説明を受けることが出来る。一般では入らない内容に接することが出来る。土曜日の半日コースも参加しやすい。資料も大切にしています。忙しいので不参加になり申し訳なく思っています。
●見学会(法隆寺、中電関係、ナゴヤドーム見学会)に参加致しました。
●各事業、企画など参加して、それぞれ有意義なものであったと思います。役員会について出席者が多く多様な意見を吸収できる雰囲気づくりを。
●法隆寺、薬師寺見学。
●三月の研修会の時間が不足。

●良いのでは。
①建築士として資質向上となる企画。②個人ではなかなか見られない場所。③建築のみならず、社会人としての講演会(建築に一部かめる)。④新築の建物等。⑤スキー(スポーツ)。⑥ハウスメーカー等の種々の工法(クロージング工法が多い)についての勉強会。相手のことを知る。⑦新しい情報についての意見の交換等。
●実務上の研修会(設計、CAD、許可申請など)今の企画等に感謝しています。時々こんなアンケートの企画も大切だと思えます。今後は企画についても考えながら参加したいと思えます。
●研修会、講演会等は、その時代のタイムリーなテーマを選び(建築士が日頃悩んでいること、専門図書では判らない様な実体験等)企画していただく。

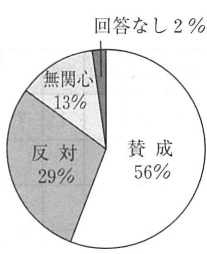
●九二通中、三三の回答がありました。
●地域内で建築の無料相談会・建築知識の説明会を開催する(五名)。地域内の(優秀)建築物の見学・説明会を行う。(四名)。地域内の行事に参加して建築士・士会・設計事務所の存在をアピールする(七名)。町づくり・町おこしの行事に参加し話し合いの場を設ける。(二名)。自治会との連携を持った、リサイクル事業等に協力したりする(二名)。支部会員同士のコミュニケーションを計りたい。その為の「たまり場」的な場所があるとよい。
●西支部をブロック分けして活動を盛んにし、ブロックごとの役員にした

設問(6) あなたは愛知建築士会全体で何に感心がありますか。具体的にお願いします。

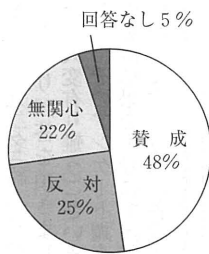
九二通中、二七の回答がありました。

●法律で認められた団体ながら入会してもメリットが少ない。行政に働きかけて特典を得たい。(三名)
●これに似た意見で建築士の権利の保護、地位向上の努力を要望。(五名)
●前記のような努力により会員数の増強を計り、結果的に会費値上げをなくして欲しい。(三名)
●建築士にしかできない様な活動、街づくり等へのプロとしての提言を行い建築士に対する社会的要求、使命を果たせるような努力を要望。(五名)
●会員全員が参加できるようなフォーラム的なものを企画、又各種講演会・研修

設問(7) 愛知万博についてお尋ねします。まず、万博の開催は賛成でしょうか、反対でしょうか。



現在愛知建築士会は、愛知万博の誘致活動を行っています。その点について、



「愛知万博について」の意見をアンケート到着順に列記します。

賛成意見：一四通
反対意見：一八通
無関心意見：四通

化にもつながり今は賛成している。

●行政主導型・経済優先・土建屋主導型のお祭りになる。私は期待してません。名古屋が大きなものになる。しかし、自然は大事にしたい。(三名)
●六月の決定後の動きを検討してほしい。
●土会との総意で誘致活動をしていくとは思わない。コンセプトは面白いが経済優先が目立ち時代の要請にも合っていない。
●土会として賛・否どちらでも積極的にかかわることには意義がある。個人的には「万博」そのものの開催の意味が、現在の情報化社会ではうすいと思う。大量消費のイベントとなっていく。

万博を誘致するメリットがわからない。

●愛知の建築の活性化につながるから。
●賛成です。愛知(名古屋)を広く知ってもらうために大変に良い。
●やりかたによっては賛成とする。地元の人にはアークセスが良くない。等々に賛成の人が多くいる。等に思ふ。自然を守ろうとする人達が反対している。本意の意味で、自然と共生する万博ができれば未来の万博が行政の開催の手段に万博開催があつてはならない。

●一部業者のために、自然と税金を使うのは反対。
●開催場所をもっと検討すべき。

●自然の破壊
●万博の開催は何のためなのか、何故やらなければならぬのか、何故今愛知万博なのか、何故の森でなければいけないのか、県内各地を候補地にあげて検討すべきである。原案では単なるイベントで終わる恐れがある。

●万博自体に意味もなく、環境破壊と交通渋滞があるだけ。
●万博を開催して地域の活性化といわれるが、万博の

建設物は、地元の建設業者では手に負えない。大手ゼネコンへの「上請」になる。小企業者への税の負担、老人障害者の福祉を考慮して欲しい。県民のためになる。県民が必ず多数賛成しているとは思われない。土会が賛成するは仕方ないと思う。今なぜ万博か非常に不明確ではないか。経済面でうろうろ部分も多くある事は認める。しかし、どんな時でもその反対もある。そのバランスがいかにかとれるかも今回のテーマと同時に議論され、やはり住人である人を無視することは許されないのでは。

●確かに環境破壊は少なくともあると思いますが、できる限り少なくして、地域活性化のために実現して欲しい。
●建築は消費して行くこと、これは自然の大切さを理解し、自然と共に生きる機会にする。祭りは別の場所で開催すればよい。
●大型プロジェクトの名で無駄な費用を使っているような気がする。五十年後百年後を考えた都市計画に結びつけるのであればじっくり考えたほうがいい。一部の大企業だけが喜んでいようような気がする。

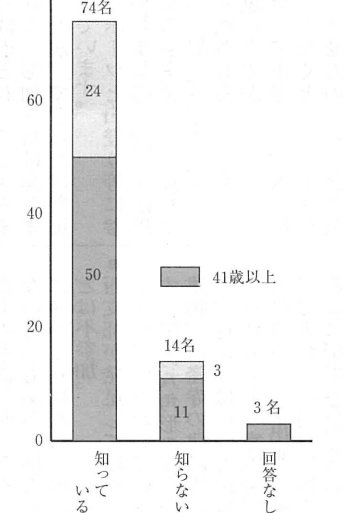
●ナゴヤドームができ、JRセントラルタワーが進行中。第二東名、名神、新空港。中部の発展に合わせて万博もやるべし。官主導型の万博には興味がない。愛知万博の開催地がなぜ瀬戸(海上の森でなければいけないのか、県内各地を候補地にあげて検討すべきである。原案では単なるイベントで終わる恐れがある。

●万博自体に意味もなく、環境破壊と交通渋滞があるだけ。
●万博を開催して地域の活性化といわれるが、万博の

●万博自体に意味もなく、環境破壊と交通渋滞があるだけ。
●万博を開催して地域の活性化といわれるが、万博の

●万博自体に意味もなく、環境破壊と交通渋滞があるだけ。
●万博を開催して地域の活性化といわれるが、万博の

に受ける。開発目的で手をあげた万博誘致が自然との共生とテーマが変わっても基本的には開発指向は変わっていない。テーマが変わった時点で候補地の変更がともなわれるべきだった。土会という資格者団体の不透明感。賛否両論のスタンスがあっても良いはず。技術的面的万博には絶対反対です！



●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

提案などが適切なもので、土会の参加については、スタート時に広く会員に意見を求めるべきであった。建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

経済的には、大きなメリットがあると聞きますが、今の時代にそぐわないイベントだと思われ、森を減らして地形を変えてまでやる内容のものとは思えないので反対です。本当にやめてほしいです。
●建設業界が反対してどうなりますか。むしろ大賛成で有りますけど。

●近年の都市計画、用途地域の改悪には腹立しく思っています。行政改革と逆行もはなはだしく、地方の行政の知恵のなさも残念です。
●西春日井郡・五三歳
●建築士会で取り上げられた、作品の写真、街並みの写真等を集めた特設展を一年一回でも作成し会員以外の方にも公開し、市民の方にも目にとまり、建築に対する意識の向上と、アメニティー感覚の実感に一役買う方向を考えたい。
●皆さん、建築行政の繁雑さ・複雑さによりがまがましくも、建築基準法も含めて一度、御破算にして明確な運用を会を通してお願いしたい。指導事項、事前協議等行政が我々に課す負担は膨大なものであります。今後、会及び会員こそで反対し簡素化に力を注いで欲しい。折角の史跡ウォーキングの記事をもっと地域の方々に広く教えて会員だけにこたわらず、一般の方にも参加して、もっと盛大にアピールした方が土会としてはよいと思ひたい。

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！

●建築士会の誘致活動において、自然の声・自然との調和、未来への使命と考える。
●万博には絶対反対です！